

## 平成30年度がん検診申込票を発送しました

30歳以上の人がある世帯に発送しています。世帯全員分を記入し、**2月28日(水)**までに提出してください。なお、平成29年度以前に「申込票不要」で提出した人や世帯には送付していません。必要な場合はお問い合わせください。



	検診名	内 容	対象年齢 (平成30年度末年齢)	自己負担金 (予定)		
				69歳以下	70歳以上	
がん複合検診(集団)	胃がん検診	胃X線撮影(バリウム使用)	31歳~79歳	1,400円	500円	
	大腸がん検診	便潜血検査	31歳以上	500円	200円	
	腹部超音波検診			1,200円	1,100円	
	肺がん検診	胸部X線検査	40歳以上	600円	200円	
	骨粗しょう症検診	前腕部の骨密度測定		1,000円	300円	
	子宮頸がん検診	内診・子宮頸部細胞診	31歳以上	1,300円	400円	
	乳がん検診	マンモグラフィ・乳房超音波検査	女性	40歳以上	1,900円	600円
				乳房超音波検査	31歳以上	1,000円
		オプション	甲状腺超音波(乳がん検診受診者のみ)		1,080円	
	その他の検診	大腸ファイバー検診	S状結腸内視鏡検査 便潜血検査	31歳以上	2,000円	
500円					200円	
子宮頸がん施設検診*		視診・内診・子宮頸部細胞診	女性	20歳以上	600円~1,700円	
乳がん施設検診	マンモグラフィ検査 または視触診・乳房超音波検査	女性	31歳以上	500円~2,600円		

※20歳代の申し込みについては、広報6月号でお知らせする予定です。

## 歯周疾患検診はお済みですか

歯周疾患やむし歯などの予防には専門家による定期的なチェックが必要です。市では歯周疾患検診を実施しています。対象者には昨年5月中旬に受診券を発送しています。この機会にぜひ受診しましょう。

- 対 象 平成29年4月1日時点で40・50・60・65・70歳の人
- と ころ 市内委託歯科医院
- 内 容 歯の健康チェック、歯肉検査、結果説明
- 料 金 無料
- 持っていくもの 受診券(はがき)、健康保険証  
※受診券を紛失した人はお問い合わせください。
- 受診期限 3月31日(土)



●問い合わせ先 健康づくり推進課 健康推進班(西合志庁舎) ☎242-1183

## がん検診

### 受けていますか?

日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人は、**がんで亡くなっています\***。死因別死亡率の年次推移を見ても、年々上昇を続け昭和56年以降の死亡順位の第1位となっています。

今回、市と包括協定を締結している大腸肛門病センター高野病院の山田一隆院長に、がん検診の現状について話を聞きました。

※厚生労働省ホームページ

#### ●がん罹患数 (2016年)

部位	男女計 罹患数
全がん	1,010,200
大腸	147,200
胃	133,900
肺	133,800
前立腺	92,600
乳房(女性)	90,000

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

#### ●がん死亡数 (2016年)

部位	男女計 死亡数
全がん	374,000
肺	77,300
大腸	51,600
胃	48,500
膵臓	33,700
肝臓	28,100

【A】日本でがんになる人は年々増加しており、年間100万人以上ががんになっています。臓器別では大腸がんが1位となっています。また、37万人以上の人ががんで亡くなっており、肺・大腸・胃がんで亡くなる人が臓器別死亡の上位を占めています。

【Q】どのくらいの方が、がんになり、また亡くなっているのですか?

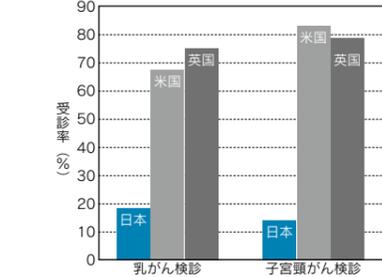


大腸肛門病センター高野病院 院長 山田 一隆 先生

【A】がんによる死亡者数を減少させるには、国が第3期がん対策推進基本計画で目標として掲げる検診受診率50%が必要とされています。しかしながら、諸外国と比べると日本の検診受診率はまだまだ低く40%前後であり、50%を超えていません。

【Q】日本のがん検診の受診率を教えてください。

【A】がんによる死亡者数を減少させるには、国が第3期がん対策推進基本計画で目標として掲げる検診受診率50%が必要とされています。しかしながら、諸外国と比べると日本の検診受診率はまだまだ低く40%前後であり、50%を超えていません。



注) わが国のがん検診受診率は、平成19年度地域保健・老人保健事業報告に基づくデータです。また、米国の受診率はCDCのBRFSS (Behavioral Risk Factor Surveillance System, 2008年)、英国の受診率はNHS Cancer Screening ProgrammesのAnnual Report (2009年)に基づきます。

【Q】海外のがんの状況はどうなっていますか?

【A】欧米でがんになる人は年々減少しているのが現状です。その要因は、がん検診を受診している人が多く、がんの早期発見・早期治療に繋がっていることが影響していると考えられています。

【A】がん検診の目的は、がんを早期発見・早期治療し、がんによる死亡率を減少させることが目的です。

【Q】がん検診の目的を教えてください。

【A】がん検診の目的は、がんを早期発見・早期治療し、がんによる死亡率を減少させることが目的です。死亡原因はがんが第1位ですが、早期に発見し早期に治療をすることで、死亡するリスクが減少します。検診でがんが発見された人の5年生存率(※)は高く、その多くは早期がんで発見されており、がんは早めに見つけて早めに治療することが重要となります。そのため、1年に1回

【Q】がん検診の目的を教えてください。

【A】がん検診の目的は、がんを早期発見・早期治療し、がんによる死亡率を減少させることが目的です。死亡原因はがんが第1位ですが、早期に発見し早期に治療をすることで、死亡するリスクが減少します。検診でがんが発見された人の5年生存率(※)は高く、その多くは早期がんで発見されており、がんは早めに見つけて早めに治療することが重要となります。そのため、1年に1回

#### ●男女別 がん検診受診率

	男性	女性
肺がん	48.3%	38.9%
胃がん	43.8%	33.6%
大腸がん	42.8%	35.9%
乳がん		36.2%
子宮がん		35.6%

(2016年国民生活基礎調査)

#### がんを防ぐための新12か条 (2017)

- 1条 たばこは吸わない
- 2条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- 3条 お酒はほどほどに
- 4条 バランスのとれた食生活を
- 5条 塩辛い食品は控えめに
- 6条 野菜や果物は不足にならないように
- 7条 適度に運動
- 8条 適切な体重維持
- 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条 定期的ながん検診を
- 11条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
- 12条 正しいがん情報でがんを知ることから

(公益財団法人 がん研究振興財団 ホームページより)

は定期的に検診を受けることが大切です。  
※5年生存率とは  
がんの治療開始から5年後生存している人の割合